

手作りのごみステーション

新川町内会の町内18カ所に設置しているごみステーションは、全て町内会役員の心のこもった手作り。必要に応じて、家や物の廃材を活用し、それぞれの工具を持ち寄って、補修などを行っています。カラスや猫に荒らされないようネットで覆い、雨にも風にも負けないよう頑丈に作られたごみステーションは、多くの会員に利用されています。

新川町内会

会長 由井 武彦



鬼のイチオシを景品に

若草町内会では、新年会などのお楽しみ抽選会で、登別の豊かな自然や文化から生み出された『登別ブランド推奨品』を景品にしています。

ラーメンや納豆、わさび漬、プリン、たらこなど、さまざまな景品で抽選会場はいつも大興奮。抽選結果に一喜一憂しながら、市内の特産品の魅力を再認識しています。

若草町内会

会長 伊藤 秀男

笑顔あふれる学校生活を

各町内会では、小学校入学式の翌日から一週間、朝の通学時間に車の往来が多い交差点の横断歩道付近で、『見守りと朝の声掛け運動』を実施しました。

新一年生からの「おはようございます」という明るい声に元気をもらいながら、交通事故を発生させないよう、交通安全旗を掲げ、多くの子どもたちを見守りました。

市連合町内会

生活安全部会長 田淵 純勝



沿道美化に汗を流す

新和会は、幌別西小学校や西陵中学校、北海道登別明日中等教育学校の児童・生徒が快適で安全に通学できるように、市民会館前の道道弁景幌別線沿いのごみ拾いを行うとともに、グリーンベルトの木の枝を剪定し、交通安全旗を新しいものに交換しました。きれいになった道は、行き交う人々の気持ちをすがすがしくしてくれるはずです。

新和会

会長 島田 幸一